

参加者の様子



第1回 アンケート結果

- よく腎盂炎で入院を繰り返すご利用者様がおられるが、残尿が原因ということもあるのかなと思った。排泄の観察もしていこうと思った。
- 患者様からの相談があった際、適切な受診勧告やアドバイスができるよう、薬学的知識もあわせて確認していきたい。
- 前立腺肥大があり入りにくいというのは都市伝説ときいて安心した。
- 排泄介助での尿量等、観察をしていけたら良いと思う。
- 訪問先の利用者様にバルン使用されている方もいるので感染などにも気をくばり見ていきたい。排尿障害の方もしっかり見分けられるようにしていく。
- デイサービスでは間欠導尿の利用者がいると受け入れにくい。管理や導尿をしても加算が無いため人員や資金の面で負担が大きい。

第2回 アンケート結果

- バルーン交換の時期や合併症について学んだので活用していきたい。
- 座尿の対処法、痛みの考え方、わき漏れの考え方、対処法など聞かせていただけたので、異常時利用者に伝えられたらと思う。
- このような学びが有効な方々に、より多く受講いただく必要があると感じた。

第3回 アンケート結果

- 排尿日誌の使い方について分かり、ぜひ使ってみたいと思いました。
- 他院での排尿日誌の症例がたくさん聞けて貴重な勉強会になった。
- 来院される患者さんの症状とあてはまることが多いと感じたので指導にも活用できると思う。
- 高齢者など頻尿の方も多く、日誌で理解してもらうことも有用と感じた。